

### 島根大学との連携研究(3.1.24)

本日(1/24)、農場では2年生物生産科の生徒が島根大学との連携事業におけるテーマ「サツマイモの品種・肥大位置の違いによる品質比較」の検証を実践していた。感心。

「前は収穫直後の比較を行いました。生イモ糖度と蒸しイモ糖度の品種や肥大位置の違いによる品質に差はありませんでした。しかし、イモの大小による違いは明確になりました。小さいイモの方が糖度計の数値が高かったです。今日は収穫後、籾殻の中で保存したイモの状況を調査します。どのような結果が出るか楽しみです。」と笑顔と明るい声で対応してくれた。

フィールドにおける調査研究の面白みを感じてくれている様子。その笑顔が元気を与えてくれる。ありがとう。



